

近年、水稲育苗ハウスの活用や、他の作物からの転換により、新規にぶどう栽培に取り組む農家が増えてきました。

整枝については、各農家それぞれの整枝をされていると思いますのでここでは、整枝・主枝の配置については触れず、結果母枝のせん定について紹介します。

◆ぶどうの結果習性

ぶどうの花穂は前年度生長した枝（結果母枝）の各節にある芽に含まれていきます。これらの芽が萌芽して結果枝が生長すると、基部より2〜3節目に第1花穂を着生し、その先に1〜4個の花穂を着生します。

◆せん定の時期と方法

落葉後の休眠期間中（12月〜2月）に行います。

◆長梢せん定の場合

結果枝の配置を考え、1㎡あたり2本の結果母枝を配置します。結果母枝は、節間が短く、

節部でやや雷光形に屈し副梢が3〜4葉で生長が止まっているものを選びます。結果母枝を基部より10芽程度で切ります。

◆短梢せん定の場合

（左図参照）

主枝の両側に20〜25cm間隔で結果母枝をつけます。結果母枝を基部より1〜3芽で切ります。（糸）

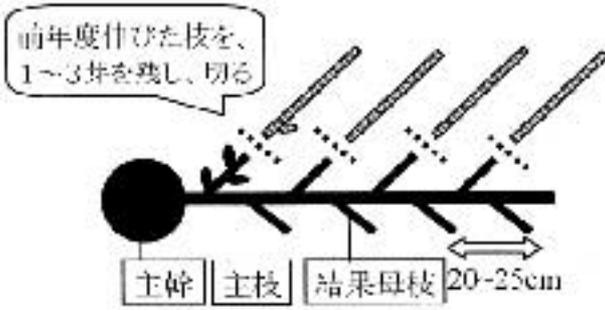


図 短梢せん定の方法

やさしいぶどうのせん定
（結果枝の間隔を意識して）

技術 & 情報

プロが教える
ポインセチア・シクラメンの管理のポイント
（きれいな鉢花をより長く楽しむために）

君津地域では、ポインセチアが5戸、シクラメンが4戸の農家で生産されており、品質の高い産地として市場で知られています。

★ポインセチア

管理のポイントは、低温・過湿を避けることです。常春の国メキシコが原産で寒さに弱いので、温度を10℃以上に保つことが重要です。居間など、常に人がいる場所が適していますが、暖房の風による乾燥は嫌います。土の表面が乾いたら水をたっぷりとかけ、鉢皿に溜った水は必ず捨てます。冬の間肥料は必要ありません。5月頃になり、最低気温が10℃以上になったらひと回り大きな鉢に植え替え、屋外の日当たりのよい所に置き、肥料を与えて下さい。冬にきれいに色づかせるためには、初秋に60日間、夕方から朝までダンボール等をかぶせて暗闇にします。

★シクラメン

管理のポイントは、5℃以上、15℃以下の暑過ぎない場所に置き、天気の良い日は、朝から夕方まで日光に当てることです。日光に当たるときにしおれるようなら水切れですので、水やりをして下さい。底面給水鉢の場合は、常に水を切らさないことが重要です。肥料は2月頃から与えて下さい。枯れた花や葉は根元から取り除き、株の中心に光が当たるように葉組みを行うと、花上がりが良くなります。6月から8月までは水を切り、風通しが良く雨の当たらない日かげに置く事で、夏越しできます。（柏崎）



うまく管理すれば5月でもこれだけの花が咲きます（シクラメン）